

# 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 8/30/2018

■参加プログラム: IARU Global Summer Program

YAL2: Future of Food: Environment, Health, and Law

■プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUGSP.html>

■派遣先大学: イェール大学

■プログラム期間: 7/2/2018 ~ 8/4/2018

■東京大学での所属学部・研究科等: 法学部

■学年(プログラム開始時): 学部3

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

Before joining my exchange year in France from August, I would like to participate in a summer program in June or July.

■参加を決めるまでの経緯:

I would like to study with students from highly competitive universities from all over the world. I decided to join it in January.

## プログラムについて

■概要:

I am so impressed that the class was so interactive that more than two-thirds of the whole duration are composed by students' presentation or discussion among students and the professor.

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

Sports

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

I sometimes went to gym and enjoy swimming.

■週末の過ごし方:

Study or week-end trips to Boston or New York.

## 派遣先大学の環境について

■設備:

Students can use all libraries, gyms and wifi facilities.

■サポート体制:

In particular, students participating in IARU summer sessions were given various supports from Yale University.

## プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:

学生寮

■宿泊先の様子、どのように見つけたか:

Shared room. Without air-conditioner. Yale assigned my dormitory.

<b>■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:</b>	
Although it was very hot (around 35 degree) in New Haven in July, there is no air conditioner in students' dormitories. From New Haven, students can easily go to New York or Boston by public transportations such as bus and train for 1h 45 minutes and 2h 30 minutes respectively.	
<b>■ お金の管理方法、現地の通貨事情:</b>	
At almost all times, I used credit cards.	
<b>■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:</b>	
You should be aware about the safety in New Haven as Yale University repeatedly warned.	
<b>■ 自由時間に利用した交通手段:</b>	
Train, bus, Uber	
<b>■ プログラム期間中に利用したネット環境:</b>	
Campus Wifi, SIM	

#### 参加前の準備・手続きについて

<b>■ プログラムへの参加手続き:</b>	
First, I applied for the internal selection of IARU summer program at the University of Tokyo. Then, I have proceeded my application within the Yale Summer Session scheme. Throughout the application process both at the University of Tokyo and Yale, they asked for my academic record, english proficiency proof and motivation statements.	
<b>■ ビザの手続き:</b>	
I applied for the US student visa. It took 2 weeks for the whole procedure, and cost 40,000 yen.	
<b>■ 医療関係の準備:</b>	
I brought over-the-counter drugs from Japan.	
<b>■ 保険関係の準備:</b>	
I applied for the insurance offered by the University of Tokyo.	
<b>■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:</b>	
After the program, I would like to transfer credits obtained at Yale.	
<b>■ 語学関係の準備:</b>	
I have IELTS 7.5 score. Before the program, I tried to listen to BBC World News and read articles from the Economist and the Financial Times every day. Plus, I should have gotten accustomed to daily life conversations or chatting with native speakers at natural speed. For me, it is much more difficult to fully participate in these conversations than engaging in academic discussion in class.	

#### 費用・奨学金に関すること

<b>■ 参加するために要した費用:</b>	
航空費	130000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	430000 円

教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	10000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	10000 円
交通費	15000 円
娯楽費	10000 円
■その他、補足等:	
■プログラム参加のための奨学金の受給有無:	
受給した	
■奨学金の支給機関・団体名等:	
GLP-GEFIL	
■受給金額(月額):	
380000 円	
■受給金額についての補足等:	
■奨学金をどのように見つけたか:	
GLP-GEFIL	

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感:
First, I obtained valuable knowledge on environmental protection from various perspectives such as natural sciences, law, politics and public health. Second, it was a great opportunity to study together with skilled students from prestigious universities like Cambridge.
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:
I am planning to go on to graduate schools abroad.
■進路・就職先(就職希望先):
研究職, 公的機関, 非営利団体 Graduate schools, Ministry of Economy, Trade and Industry (METI), Ministry of Foreign Affairs and JICA
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:
Highly recommended! Let's apply for it!
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:
Go Global Website <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/index.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/index.html</a> IARU <a href="http://www.iaruni.org/for-students/global-summer-program">http://www.iaruni.org/for-students/global-summer-program</a>

# 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 8/30/2018

■参加プログラム: IARU Global Summer Program

YAL2: Future of Food: Environment, Health, and Law

■プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUGSP.html>

■派遣先大学: イェール大学

■プログラム期間: 7/2/2018 ~ 8/3/2018

■東京大学での所属学部・研究科等: 農学部

■学年(プログラム開始時): 学部 3

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

秋から全学交換留学に行くことを検討していたため、夏の時間も短期留学に行くことで有意義に過ごしたいと考えたため。

■参加を決めるまでの経緯:

環境、生態学に関係あるプログラムでかつ、世界のトップ大学での授業に参加してみたかった。UC Berkeley で開かれていたプログラムも魅力的だったが、高かったのこちらにした

## プログラムについて

■概要:

週 2 回の授業のうち、片方は事前に課されたリーディングについて講義やディスカッション、もう一つの授業はチームプレゼンとそれに関するディスカッションでした

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

取り組んでいない

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

選択肢の中にあるようなことをしていた人はプログラム参加者にはいないと思います。一カ月のプログラムであまり時間もないので。

■週末の過ごし方:

予習しているか友人とともに出かけたりしていました

## 派遣先大学の環境について

■設備:

WiFi はキャンパス内であればどこでも使えます  
ジムはかなり大きいので一度試してみるといいと思います  
気分転換に行って汗を流していました

■サポート体制:

writing について Yale の生徒から指導を受けられるサービスがありました

## プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:

学生寮

<p>■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか：</p> <p>プログラムについてきます</p>
<p>■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：</p> <p>初週は熱波の影響で非常に暑かったですが、その後は割と涼し目な感じでした。          とはいえやはり暑いです          学生寮は冷房設備が全くないため、暑いときは寝苦しいです</p>
<p>■ お金の管理方法、現地の通貨事情：</p> <p>クレジットカードがどこでも使えます。          ので、現金はあまり多く持っていかななくてもいい気がします</p>
<p>■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：</p> <p>夜は一人で出歩かないほうが良いと思います。          風邪薬は日本から持って行ってもいいかもしれません          自分は最初の一週間がずっと風邪気味でちょうしがでませんでした</p>
<p>■ 自由時間に利用した交通手段：</p> <p>列車, Uber</p>
<p>■ プログラム期間中に利用したネット環境：</p> <p>キャンパス Wifi, SIM</p>

#### 参加前の準備・手続きについて

<p>■ プログラムへの参加手続き：</p> <p>東大国際交流課への志望動機等の提出がありました          締め切りがテスト期間に近く大変だった記憶があります          東大内の選考に通ればそれが向こうの大学に送られ、チェックされるようですが、基本は学内選考に受ければ大丈夫なようです。</p>
<p>■ ビザの手続き：</p> <p>f1 学生ビザを取得しました。早め早めで手続きを進めるといいと思います          大使館での面接は待ち時間が非常に長かったです。</p>
<p>■ 医療関係の準備：</p> <p>特に新しく検診を受けたりはしませんでした</p>
<p>■ 保険関係の準備：</p> <p>GLP経由で付帯海学に加入しました          特に難しいことはないです。</p>
<p>■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き：</p> <p>研究室の教授にサインと印鑑をもらい、農学部あてに留学届を提出しました。</p>
<p>■ 語学関係の準備：</p> <p>出発の8カ月ほど前にTOEFL106でした。          ネイティブも多いプログラムのため、自分の英語力が十分だと思ったことはないです。</p>

## 費用・奨学金に関すること

<b>■参加するために要した費用:</b>	
航空費	120000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	430000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	20000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
<b>■その他、補足等:</b>	
<b>■留学先で費やした生活費:</b>	
家賃	0 円
食費	0 円
交通費	20000 円
娯楽費	50000 円
<b>■その他、補足等:</b>	
家賃、食費はプログラム参加費約 430000 円に含まれていました	
<b>■プログラム参加のための奨学金の受給有無:</b>	
受給した	
<b>■奨学金の支給機関・団体名等:</b>	
GLP-GEFIL	
<b>■受給金額(月額):</b>	
360000 円	
<b>■受給金額についての補足等:</b>	
<b>■奨学金をどのように見つけたか:</b>	
もともと知っていた	

## プログラムを振り返って

<b>■プログラムに参加したことの意義、その他所感:</b>
世界トップレベルの学生と共に時間を過ごすことで自分の強みや自分に足りていないことが見えたと思います。 授業内容に関しても今まで知らなかったが重要なことばかりで非常に興味深かったです。
<b>■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:</b>
海外の院への進学を真剣に考えています
<b>■進路・就職先(就職希望先):</b>
マスターにはいこうと考えていますが、そのあとは決めかねています

■ 今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

迷っているのであればチャレンジしてみてもいいと思います。

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:

国際交流課の体験記などはあまり参考にならなかった気がします。

GLP で昨年度に Yale で勉強した友人たちにいろいろ聞きました。